共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

連合会総会報告

■発行：グリーンコープ
　　生活協同組合連合会理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
　福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
　博多大博通ビルディング3階
　TEL092（481）7923
　FAX092（481）7876
https://www.greencoop.or.jp/

FSC www.fsc.org　ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C014687

2023年6月20日
グリーンコープ
生活協同組合連合会
第三十一期
通常総会

産直生産物の利用拡大や環境に配慮した商品開発に取り組みました

2023年6月20日、グリーンコープ生活協同組合連合会の第三十一期通常総会が開催され、すべての議題について賛成多数で承認・可決されました。昨年と同様に、コロナ対策を取りながら会場に集い、オンラインでも結ぶハイブリッド開催となりました。

2022年度の活動報告の中から新しい取り組みや特に力を入れた取り組みについて、また、2023年度の活動方針（要旨）について、報告します。

第一号議案

2022年度活動報告承認の件

2022年度、グリーンコープ連合会は、グリーンコープの運動と事業を推進する業務、グリーンコープ連合会の業務の強化と合理化に取り組みました。また、環境を守る取り組みや商品開発も継続しています。

産直畜産物の利用普及に取り組みました

これまでにない畜産飼料価格の高騰などによって産直畜産物の価格が上がったことから、利用が前年を下回りました。それにより、特に産直豚の在庫を大量に抱えることになったため、新規組合員向けの無料お試しサンプルや「産直畜産物まとめて利用大特価」などの企画、商品おすすめ委員会が検討した利用普及のためのチラシ配布などに取り組みました。結果、年度末には産直豚肉の在庫過多は解消できました。

全国的に蔓延した鳥インフルエンザが2022年末にグリーンコープの産直生産者の農場でも発生し、2023年初めより産直たまごが不足となりました。組合員には大きな不便をかける事態となりましたが、予約利用者へは安定して届けることができました。

平飼い産直たまごは、現在取り組みをしている産直生産者の半量しか引き取れていませんが、今後グリーンコープで全量を引き取り、カタログでも企画して利用を広げていきたいと考えています。



グリーンコープ連合会
専務理事
西村 大輔さん

ハム・ソーセージの10年ぶりのリニューアルに着手しました

組合員の嗜好の変化に伴い、減塩やカロリー低減など、様々な世代が求める特徴を持つ商品にすることを重視して、2023年秋の登場をめざして検討を行っています。「不要な添加物は使用しない」という原則に基づき、おいしくて安心できる商品を実現します。

夏場に欠配の多い青果の確保に取り組んでいます

九州のみならず北海道や東北など寒冷地の野菜の確保も進めています。野菜全体の欠配率は2020年の22.5%から14.6%と大きく改善しました。今後も欠配の解消に向けて取り組みを強化します。

環境に配慮した包材への変更を進めました

フィルム包材の商品を中心に、バイオマス原料や再生ペット（PET）へ切り替えを進めています。一般ではバイオマス原料など環境配慮成分を数%含む程度が実情となっている中、30~50%の配合割合を実現させました。また、環境配慮型包材の商品には、カタログで環境配慮原料の含有量をマークで案内しています。

GCアプリの充実化を図りました

共同体組織委員会で検討されたGREENエコノート（Web版）をGCアプリの中に加えました。組合員がグリーンコープ商品の利用や4R※運動に取り組むことで削減できたCO²を示す機能を備えるなど、環境問題に対する意識を高め、楽しく実践できるツールとして期待されています。

※リフューズ（断る）・リデュース（減らす）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）

「商品の確かさを確認する活動」から商品の改善・開発につながっています

組合員が直接、製造現場を確認し、生産・製造の努力や苦労、確かさを共有することで、組合員が商品の良さを実感して伝え、広めています。コロナ禍等の影響で実施できなかった活動もありましたが、オンラインで実施できた活動もありました。活動に参加した組合員から、商品をもっと良くしたいと積極的に意見・要望が出され、改善・開発につながった商品もあります。

質疑応答

Q. 「商品の確かさを確認する活動」について、以前オンラインで行う相談をしたところ、メーカーから「ライブ配信ではなく録画で」と言われたことがあります。しかしそれでは、目で見て約束通り作られているか確認するという活動の目的と合致しないので、お断りしました。
オンラインでの活動を広げていくとのことですが、目的があいまいになってしまうのではないでしょうか。

A. コロナ禍でもオンラインを活用して活動を増やしていきたいという趣旨でした。
メーカーの事情で立ち入りできない場所もありますが、録画できる所ならライブ配信していただけるようにしていきます。また、今後はリアルでの活動を積極的に行い、実際に目で見て確認できるようにしたいと考えます。

第三号議案

2023年度活動方針決定の件

一、グリーンコープの主人公である組合員がグリーンコープ運動を展開し、仲間を増やし、利用を高めます。

二、生命（いのち）を守り育むグリーンコープの食べものを食べて、私たちの安心・安全な食べものを守り、より良く育てていきます。

三、「グリーンコープ商品の確かさを確認する活動」を重要なグリーンコープの組合員活動とし、メーカー・生産者との交流によって、商品管理の強化と商品の利用拡大をすすめていきます。

四、グリーンコープ商品を見直し、改善と開発をすすめていきます。

五、組合員の伸びに呼応する生産や製造の実態を再構築し、組合員、メーカー・生産者、ワーカーズ（労働協同組合）、職員とともに利用の拡大をすすめていきます。

六、グリーンコープらしいこだわりある特別企画商品（雑貨）を増やしていきます。

七、グリーンコープ連合会と単協の経営を一層強化します。

八、四つの共生の願いに基づく取り組みをすすめます。

九、各委員会の方針は次のとおりです。

㈠商品検討委員会
(1)新規提案の商品について、検討決定します。
(2)新規の農畜水産物の産地や新規のメーカーを視察します。
(3)日常的な商品管理等に関する報告事項について確認します。

㈡商品おすすめ委員会
(1)生産者やメーカーとのつながりを深め、単協での利用普及に活かします。
　ｲ)単協で行なわれた産地やメーカーの視察・交流などの取り組みを共有します。
　ﾛ)オールグリーンコープで行なう産地やメーカーの視察・交流に取り組みます。
(2)グリーンコープの「産直」や「商品」について知ることで、そのよさを実感し、オールグリーンコープで利用普及の取り組みをすすめます。
　ｲ)単協での利用普及の取り組みを共有します。
　ﾛ)学習を通して利用普及につなぎます。
(3)組合員の声を活かした広報を通して利用普及をすすめます。

2023年6月20日
グリーンコープ
生活協同組合連合会
第三十一期
通常総会
第一号議案　2022年度活動報告

２０２２年度のグリーンコープ連合会商品検討委員会と商品おすすめ委員会は、昨年度に引き続き、コロナ対策をしながら開催しました。
２０２２年度の各委員会の活動を報告します。

連合会 商品検討委員会

委員一人ひとりが商品提案に真摯に向き合い長く愛される商品の検討に取り組みました。

丁寧に検討を積み上げ心から納得できる商品を生み出しました

２０２２年度も、グリーンコープの基本的な考え方に基づいて「こんなものが欲しい」「こうだったらいいな」という思いを大切に、市場の動向も意識しながら、組合員が利用したくなるような商品をイメージして検討をすすめました。
環境に配慮した包材の検討を行い、よりシンプルな包材にすることを目指しました。また、多くの利用につながる検討も行い、組合員に商品の内容が伝わりやすいデザインを選択した商品もあります。
各生協による開発商品について、組合員の思いをもとに開発された商品の、誕生までの豊かな検討の様子や制作されたチラシなどを媒介・共有し、オールグリーンコープの商品として利用普及に努めました。
既存商品に替わるCO-OP冷凍白和え、CO-OP冷凍白和え（ひじき）の開発では、丁寧に検討を積み上げ、子どもから大人まで幅広い年齢層に好まれる商品を開発することができました。メーカーによる内部学習会を開催し、組合員、ワーカーズ、職員が一丸となって利用普及をすすめた結果、好調なスタートを切ることができました。



環境配慮型包材を採用した商品

人や環境にやさしい商品の開発を行いました

既存商品の企画終了に伴い開発したCO-OPキッチンのしゃぼん固形は、台所から地球環境を考えていくことをコンセプトの一つとして検討を行いました。使いやすさや素材、包材の削減にもこだわり、人にも地球にもやさしい台所用せっけんを開発することができました。


CO-OPキッチンのしゃぼん固形

昨今の地球温暖化や気候変動によって、以前と同じように農作物ができない状況にあります。また、高齢により農業をやめる生産者もいます。そうした中、組合員が求める安心・安全な生産物を作られる新たな生産者、新規産地との取引を開始することができました。
私たちの思いを受け止めてくれる生産者の現状に寄り添い、これからも日本の農業を守る取り組みを根幹において、検討をすすめたいと考えます。
２０２２年度は委員会に参加する生協が増え、12生協の委員で検討することができました。委員会メンバーから多様な意見が出され、オンラインでも豊かで濃い検討ができました。２０２３年度は委員全員が一堂に会し検討をすすめています。私たちが本当に欲しい、安心・安全なグリーンコープだからこそできる商品をめざし、メンバー一丸となって生み出していきたいと思います。

連合会 商品おすすめ委員会

生産者やメーカーとの交流や学習会を通してつながりを深め、利用普及に取り組みました。

産地やメーカーとの視察・交流を行い信頼関係を実感しました

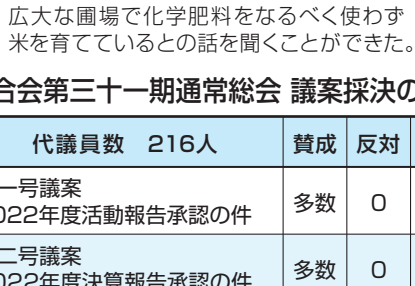
２０２２年度は、コロナ禍により中止していた現地での視察・交流が３年ぶりに再開され、生産者やメーカーから直接話を聞く機会が増え、顔の見える関係をあらためて実感し、それが活動へのエネルギーとなりました。
CO-OP産直びん牛乳については、工場視察や学習会を開催しました。オンラインでの工場視察では、生乳を自然に近い状態で組合員に届けるために、専用工場で機械と人の目で丁寧に管理・製造していることを知りました。先輩組合員を迎えての学習会では、CO-OP産直びん牛乳を次の世代にもつなげていけるように、みんなでしっかり利用していきたいと感じました。
北海道の米の生産者との視察・交流では、実際に圃場を見ながら話を聞きました。今期からネオニコチノイド系農薬は使用せずに栽培していると聞き、遠く離れた産地にも組合員の思いが届いていることを知り、大変嬉しく感じました。
みかん産地の視察・交流では生産者からは今年こそは会えるかと首を長くして待っていたと話があり、こんなにも楽しみにしてもらっていたのだと知りました。


専用のタンクをはじめ、工場での製造の様子を写真や動画で視察。

りんご産地では、太陽の光を当て色づきをよくするために葉を剪定し、さらに果実を少しずつ回転させて、戻らないようにテープでとめるなど、果実や木の一つひとつをよく見て育てていることに感動しました。生産者のもっと研究しておいしいものを作りたいとの話からりんご作りへの熱意が伝わりました。
メーカーとの視察・交流では、異物混入を防ぐための衛生管理や、賞味期限を厳守するための確認を徹底していることを、実感することができました。オンライン視察では、製造ラインの細部まで撮影されていて、工場の様子を詳細に知ることができました。メーカーの思いやこだわりを知って、安心して食べることができる商品であることを実感し、広く組合員に伝えたいと感じました。

学習会で学んだことを利用普及につなげました

グリーンコープの様々な商品や産直についての学習会を開催しました。
「産直」「商品」学習会は２日間でのべ６１８人の参加があり、多くの組合員がグリーンコープの食べものの良さを、より一層理解することができました。
委員会内の学習会では、産直豚肉について、生産者を迎えて話を聞きました。飼料や飼育方法にこだわって大切に育てられた産直豚肉が、部位によっては大量に余っていることを知って、多くの組合員に伝えたいとの思いでチラシを作成し利用につなげました。



広大な圃場で化学肥料をなるべく使わず米を育てているとの話を聞くことができた。

グリーンコープ
生活協同組合連合会
第三十一期 通常総会
２０２２年度決算報告
（貸借対照表・損益計算書）は
ホームページに
掲載しています

貸借対照表は
こちらから

損益計算書は
こちらから

連合会第三十一期通常総会 議案採決の結果

代議員数　216人	賛成	反対	保留
第一号議案 2022年度活動報告承認の件	多数	0	0
第二号議案 2022年度決算報告承認の件	多数	0	0
第三号議案 2023年度活動方針決定の件	多数	0	0
第四号議案 2023年度事業計画・予算決定の件	多数	1	1
第五号議案 定款変更（一部記載間違いによる訂正）の件	多数	0	0
第六号議案 役員選任の件	多数	0	1
第七号議案 役員報酬決定の件	多数	0	0
第八号議案 議案決議効力発生の件	多数	0	0

連合会第三十一期通常総会で選任された役員

理事全体区
西村　大輔　連合会専務理事
片岡　宏明　共同体専務理事 連合会常務理事 ひょうご専務理事
河嶋　敏秀　連合会常務理事
本田　慎一　連合会常務理事
大谷　昌己　連合会常務理事
平本　早余子　連合会常務理事
鹿毛　優子　共同体組合員事務局長 連合会組合員事務局長
東原　晃一郎　ふくおか常務理事
池野　健治　共済連合会専務理事
竹田　さやか　連合会商品検討委員長
田中　仁美　連合会商品おすすめ委員長
高橋　雅子　連合会組織委員長（共同体）
廣末　信代　連合会福祉委員長（共同体）
荒木　憲子　共同体・連合会ワーカーズ常勤理事会代表

理事地域区
武田　直美　ふくしま理事長
谷澤　孝子　しがまる理事長
篠原　佳奈子　おおさか理事長
田内　理恵　ひょうご理事長
飯村　美智子　おかやま理事長
中村　絵里佳　とっとり理事長
中本　千帆子　（島根）理事長
前津宗　八州恵　ひろしま理事長
松本　あいら　やまぐち理事長
坂本　寛子　ふくおか理事長
安部　百々　ふくおか副理事長
中村　晶子　ふくおか副理事長
大坪　綾子　ふくおか副理事長
永井　洋子　ふくおか副理事長
小川　幸恵　さが理事長
島田　美砂子　（長崎）理事長
小林　香織　くまもと理事長
八木　佳奈　くまもと副理事長
株元　知子　くまもと副理事長
薬師寺　ひろみ　おおいた理事長
亀崎　恵理子　かごしま理事長
川口　香代子　みやざき理事長

監事
前田　いずみ　おおさか
郷田　育美　とっとり
牧田　聰子　さが
片岡　直也　おかやま
和田　和明　かごしま

退任した役員

退任理事
日高　容子　みやざき
行岡　みち子　連合会　期中退任
木村　和子　しがまる　期中退任
清水　園子　ひょうご
林　美恵　とっとり
砥上　叔子　ふくおか
松尾　真由子　みやざき
金田　幸代　商品おすすめ委員会
中本　瑞樹　福祉委員会

退任監事
久保　かおり　やまぐち
南　栄作　くまもと

生協名は一部省略しました